

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
自主創造の基礎 1 self-independence and creativity 1		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	()	日本大学への編入を希望する学生のための科目です。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林大輔	講義棟 1F	火曜～金曜 9:00～18:00 (授業及び会議の時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
この授業は、大学生としての基本的な資質を育成するための日本大学全学共通初年次教育科目である。「自主創造の基礎 1」では、日本大学で学び研究することの意義と方法について学修する共に、大学入学までの受動的な学習から転換をはかり、主体的な学修について習得させる。この授業科目は、いわゆる専門教育の前段となる基礎教育だけではなく、社会人として学修することの意義やその在り方について授業を通じて理解し、“自主創造型パーソン”を育成することをねらう。				
授業の目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・大学における学習の基本的姿勢や方法を修得し、実践できるようにする。 ・専門科目での学習に活かせる研究や学習の方法を修得し、実践できるようにする。 ・グループ研究やプレゼンテーションの方法を修得し、実践できるようにする。 				
授業の方法				
「個人ワーク」「グループワーク」「発表・共有」通し、“自ら考え行動する”ことを主眼にアクティブ・ラーニングの授業形態とする。				
学習の成果 (学習成果)				
<ul style="list-style-type: none"> ・自主創造とはどのような考え方なのか、説明できる。 ・日本大学の歴史の概要を説明することができる。 				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	スタートアップ：自主創造型パーソンとは (初年次教育の概要の理解)			
第2回目	日本大学の歴史			
第3回目	大学で学ぶということ (高等学校との「学び」の違い)			
第4回目	授業を受ける (講義・演習・実習・ゼミナールの作法、討論・質疑)			
第5回目	文献 (本・論文・各種資料) を探す 図書館見学 図書館・インターネットの利用法			
第6回目	文献の読み・まとめる 文献の読み方・まとめ方			

第7回目	文献のレポートを作成する レポートの作成方法
第8回目	グループワーク 1 発表・討議
第9回目	グループワーク 2 発表・討議
第10回目	プレゼンテーションの基礎 1 プレゼンテーションの方法
第11回目	プレゼンテーションの基礎 2 グループワーク
第12回目	プレゼンテーションの実践 1
第13回目	プレゼンテーションの実践 2
第14回目	課題学習 課題レポートを書く
第15回目	まとめ
事前・事後学習	各授業計画に応じて事前学習と事後学修（復習）を行うこと。グループワークの課題にかかわる情報収集・資料を調べて授業に臨む。また、必ず復習をして次回授業につなげる。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	日本大学で学び研究することの意義と方法について整理し、プレゼンテーションを作成する。満点＝要点をまとめられているか。提出期限が守られているか。締め切りを過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

『“自主創造”のためのLearning Guide』（日本大学FDガイドブック）
--

履修上の留意点・ルール

私語は慎むこと。
